

これからのまちづくり

この先どんな問題が起こるの？

人口が減っていくと、これまであった地域のコミュニティが維持できなくなったり、普段の買い物をするスーパーとか、身近にある病院とかが無くなってしまいかもしれないんだ。

じゃあ、広い土地がある郊外に大きな商業施設をつくって、たくさんの人に買い物に来てもらったらどうかな？

それはいい考えに思えるけど、郊外に大きな商業施設をつくとお店に行くには車が必要になるよね。そうすると、車に乗れない人は不便だし、今営業しているお店にも影響があるだろうからね。

そうなんだー。今近くにあるお店が無くなったら住みにくいまちになってしまうわね。

そうだね。でも、まちが広がること自体は悪いことではないよ。問題は人口が増えないのにまちが拡大することなんだ。まちが広がった分だけ、上下水道や道路などインフラ施設の維持費がどんどん増えてしまうからね。

人口が減るのに維持費が増えるのは良くないものね。

だから、これからは人口規模や財政状況に見合ったまちづくりが必要になるんだよ。その考

え方をコンパクトシティっていうんだ。

コンパクトシティ？

これ以上まちの拡大は抑えて、これまでつくってきたまちの基盤を有効活用しながらコンパクトにしていくまちづくりのことだよ。

なるほどね。でも実際にどうやってまちをコンパクトにしていくの？住めない場所を増やしていくの？

これからも今住んでいる場所に住み続けられるよ。駅や中心市街地、総合支所の周りに公共施設やお店、病院が集まったまちの拠点をつくるんだ。あちこちにいろんな施設をつくるのではなくて、地域の拠点ごとに施設を集めて人を呼び込むんだよ。

便利な拠点がいくつあるっていうことなの？

そうだよ。そして拠点と拠点を公共交通機関や道路のネットワークで結ぶんだ。複数ある拠点がつながっているから、「多極ネットワーク型コンパクトシティ」っていうんだ。新しい都市マスタープランでも、歩いてお店や駅に行けて、便利で健康的な暮らしができるように、多極ネットワーク型コンパクトシティを目指していくんだよ。

これからも住みよいまちを目指すために、時代にあった都市計画が必要だね。

市街化区域と人口の関係

